

3月末、初めて山口に着いて留学生活が始まりました。最初、2週間ぐらいは友達もいなく、寂しい生活が続きましたが、学生チューターや偶然に出会った友達のおかげで最初から割と楽しい生活を送りました。その後、前期の授業では



「日本語」「アジア社会論」「民俗文化論」「韓国言語文化」「日本語教育入門」「日本文化論」「日本の芸術と文化」という授業を取りました。

日本語で受ける授業は人生で初めてだったので最初は聞き取れなかったことがほとんどでした。しかし、授業中に分からない日本語の言葉や漢字があったら隣の友達から教えてもらえて日本語の実力がどんどん上がりました。学校生活以外の時間は友達とご飯に行ったり、旅行も行きました。日本の友達と交流していく中で、コミュニケーション能力がかなり伸びたと思います。そして、韓国より部活の活動が盛んな日本の大学で、「サッカー部」と「書道サークル」に入って、日本の学生たちとサッカーをしたり、書道をしながら漢字をきれいに書く文化が身に付き、いい経験になりました。



前期が終わって夏休みは韓国に一旦帰国しました。アルバイトもあったし、予備軍訓練もあったため一か月半ぐらい帰国しましたが、その時、県立大学の友達4人ぐらいが韓国まで遊びに来てくれて、韓国を紹介する機会になりました。友達は日本の文化や言葉を、私は韓国の文化や言葉を紹介する機会になって色々楽しい時間でした。

後期になって「日本語」「こころの科学」「教育社会学」「日本語教授法」「韓国言語文化」

「比較政治論」という授業を受けました。後期の授業は結構難しかったですが、日本語の能力は伸びたと思います。後期には小・中学校に訪問して、小・中学生に私の地元の釜山や韓国を紹介する機会がありました。普段、多人数の前で発表をするのが苦手な性格でしたが、この機会に20人~30人の前で外国語である日本語で発表する経験のおかげで、日本語を話すのに自信がついたと思います。



私は留学に行く前から一番の目標は「現地の日本人の友達をたくさん作ること」でした。普段、韓国で日本語を勉強する時は教科書の漢字や文法は習うことができましたが、実際に日本語を話す機会が全くなかったので、コミュニケーション能力が非常に足りなかったです。1年間留学しながら、色々な友達と出会ってコミュニケーション能力が向上されました。そして、実際に日本の同じ大学生と交流して、異国の大学生活や大学文化を学ぶことができました。韓国に帰って、今からの目標は大きく二つあります。

一つ目は、日本語をネイティブみたいに話したいです。二つ目は、日本語の勉強や日本の文化が好きなので、すぐ日本で就職して日本と韓国の間で影響力ある人になりたいです。

